

いくはべのさと 的部里

的部里は、『播磨国風土記』という本に、5世紀ごろに弓矢などの戦いの道具をつくっていた的部が住んでいた土地と書かれています。近くにある上境遺跡では、平成3年(1991)の調査の時、竪穴式住居の跡から、焼けた木や、弥生時代中ごろのかめや高杯、鉢が発見されました。

行った日



いわべいちかわわた 岩部市川の渡し

岩部自治会に保存されている明和5年(1768)の『岩部村横渡し由来』という本に、享保年間の中ごろ(1730年ごろ)、横渡し舟の許可を取ったと書かれています。それから馬橋の宿場と渡し場のあたりが長く栄えたと伝えられています。

行った日



いわべ 岩部の樽かき

昔、大雨で市川が洪水になった時、竜のような大きなへびが自分の体を横たえて堤防になって水をせき止め、村を守ったと伝えられています。そのへびに感謝するため、大蛇祭(大祭)として村人がおまじりするようになりました。これが今も続いている樽かきの始まりです。

行った日



かたやまこふん 片山古墳

高さ81mの山の上にあり、長さ約30m、後ろの円い部分の直径約20m、高さ約3mの前方古墳です。つくられたのは6世紀の中ごろと考えられています。昭和48年(1973)に県の史跡に指定されました。

行った日

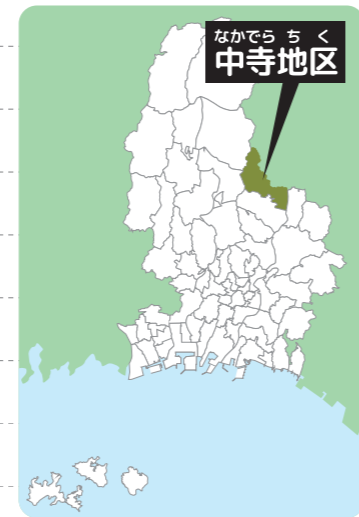


きゅうよう 休養センター香寺荘

JR溝口駅から西に車で約5分のところにある、温泉がわき出る宿泊施設です。温泉は「おきな湯」(男湯)と「かや姫の湯」(女湯)があり、竹の林が見える露天風呂や寝湯、遠赤外線サウナなどが楽しめます。

行った日

etc



なかでらちく 中寺地区

ちゅうごくじどうしゃどう 中国自動車道



しら 調べたこと、 わ かったことを か 書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、社寺、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 美術品
- 伝統芸能 など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

なかでらちく **68 中寺地区**

なかでらちくには、太子堂や溝口廃寺跡など、聖徳太子とゆかりがある建物や遺跡が残っています。中寺地区と聖徳太子はどんなつながりがあったのか、調べてみましょう。



0m 500m 1km

たいしれいさい 太子例祭 (お太子さん)

お太子さんは、太子堂で毎年聖徳太子の亡くなった日である2月22日(最近では2月第4土曜日)に行われるお祭りです。近くの曹洞宗のお坊さんたちによる般若心経600巻の転読供養法要を中心に、プレゼントがあたる福引などが行われます。

行った日



つねやしうあと 恒屋城跡 (ほか7か所)

赤松氏の家来の恒屋氏が住んでいたお城の跡です。恒屋城は、前のお城が高さ200m、後のお城が高さ236mといわれ、特に西の斜面には長さ6~12mの堀が何本も掘られています。堀が今でもはっきりと残っている城跡は、山城を研究する上で貴重なものです。

行った日



はぜししまい 土師獅子舞

土師の大年神社の秋祭りで行われている獅子舞です。お祭りの当日は、氏神、大年神社と日吉神社で舞い清めた後、村のすべての家をまわって荒神祓いを舞います。現在、13種類の舞いが保存会によって伝え続けられています。市の無形民俗文化財に指定されています。

行った日



ひつくらおど 櫃倉踊りと播州音頭

8月最後の土曜日の夜、晦踊りとよばれる、播州地方では最後となる盆踊りが行われます。かつて初盆の家をまわり、庭で踊った盆踊りが変化して、水不足にならないようにという願いとともに踊られるようになりました。北恒屋播州音頭は市の無形民俗文化財に指定されています。

行った日



みぞくちはいしあと 溝口廃寺跡

円覚寺の南側に大伽藍があったことが想定できるお寺の跡があります。大きさが3m×2mもある播磨石の礎石が残り、この地域でも最大級の塔の基礎になる石が残っています。奈良時代の初めごろ(白鳳年間)の瓦も発見され、聖徳太子大塔跡として知られています。昭和49年(1974)に県の史跡に指定されました。

行った日

